

RACE REPORT



AUTOPOLIS

HONDA

YOKOHAMA

BANDERO
DRINK RESPONSIBLY

KOE

URC

KS Material

NGK
SPARK PLUGS

QMI
beyond the invisible

3M

KAJIMA

FUJI xerox
富士ゼロックス多摩株式会社

idemitsu

Swift

ODYSSEY

KRS
KTEL RACE SERVICE

WPC

SHIBA
Performance Parts

TONE

SD
SP AIR

D.B.P

MD
MECHANICAL WEAR

リポランド

BOSS
COFFEE

STRASSE
RACING

DESCENTE

PATRICK

SOLAN
DE L'ARABIE SAUDITE

開幕戦ぶりのスーパーフォーミュラ

全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ第4戦が、11月14日(土)～15日(日)にかけて大分県のオートボリス・インターナショナルレーシングコースで開催された。ドライバーのタチアナ・カルデロン選手(以下、カルデロン選手)は、新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴い第2戦と第3戦を欠場したが、今回以降はシリーズ最終戦まで日本に滞在予定で、シリーズ残り全戦に出走する予定でいる。オートボリスを初めて走行するカルデロンは、シミュレータでコース習熟を重ねたうえでレースウィークに臨んだ。

今回も、土曜日は専有走行とフリー走行を行い、公式予選と決勝レースは日曜日に行う1DAY開催である。

フリー走行

金曜日夕方、カルデロン選手は伊与木エンジニアを伴ってオートボリスのコースを歩いて路面の状況を確認、土曜日午前のフリープラクティスを迎えた。オートボリスは朝から快晴に恵まれ、午前10時5分からセッションが始まった。コースインしたカルデロン選手は慎重に周回を重ね、22周を走って出走20台中18番手のタイムで走行を終えた。午後2時45分から始まった2回目のフリープラクティスでは、終了間際にニュータイヤを用いて公式予選を想定したタイムアタックの練習を行った。

初日を無事終えたカルデロン選手について、道上監督は「オートボリスでは、大抵この時期1回は霧が出たり雨が降ったりするので天候が一番心配でしたが晴れて良かった。気温が低いのでタイヤの暖まりが悪いところ、初めてのコースをうまく走ったと思います。最後のタイムアタックは、もっと速いタイムが出ていたのですがトラフィックに引っかかってトップから2秒遅れでしたが予選ではもう少し縮められるでしょう」と評した。

一方伊与木エンジニアは、「タイムアタック練習に入る前赤旗が出て、残り3分でアタックをしなければなりません。3分では十分タイヤを暖めるのは難しく、トラフィックに引っかかることもわかってはいたのですが練習だと思って送り出しました。日本のタイヤを使ったアタックの難しさを体験したと思います」と語った。

カルデロン選手は、「シミュレータを使って練習はしてきましたが、曲がりくねってアップダウンがありコース幅が狭いことに改めて驚きました。走り出しは、タイヤも暖まりにくいので細心の注意を払いました。わたしがいない間、2レースを塚越広大選手が乗ってクルマを熟成してくれたおかげでトラクションやスタビリティの面で非常に進歩していて驚きました。予選ではなんとかQ1を突破したいと思っています」と抱負をのべた。

予選結果

| 順位 | ゼッケン/氏名 タイム |
|----|----------------------------------|
| 1 | #16 野尻 智紀 1'24.140 |
| 2 | #6 福住 仁嶺 1'24.155 |
| 3 | #5 山本 尚貴 1'24.257 |
| 18 | #12 Tatiana Calderon 1'27.168 |



公式予選

日曜日も、オートポリスは快晴となり、午前 10 時 20 分から Q1 予選セッションが始まった。A 組で出走したカルデロン選手は、タイヤをウォームアップしタイムアタックに入ったが途中のセッションで赤旗中断されてしまったのでピットに戻った。残り 3 分でセッションが再開されたが、ここで伊与木エンジニアは敢えてニュータイヤ投入を決めた。「フリープラクティス同様、1 周したらすぐアタックに入らなければいけないけれどニュータイヤで行くか？ 日本の選手はみんなそれをやるよ。と確かめて送り出しました」と伊与木エンジニア。

カルデロン選手は伊与木エンジニアの指示通りニュータイヤを装着してコースイン、1 周だけウォームアップを行ってタイムアタックに入ると、これまでの自己ベストとなる 1 分 27 秒 168 を記録したが 9 番手に終わり、Q2 セッション進出はならずスターティンググリッドは 18 番手に決まった。

決勝レース

午後 2 時 40 分、気温 22℃、路面温度 28℃と絶好のコンディションで決勝レースのフォーメーションラップが始まった。18 番手からスタートしたカルデロンは慎重に加速、1 つポジションを落としてオープニングラップを終えた。

7 周目、コース上で停止した車両を回収するためセーフティーカーが導入となった。この時点でカルデロン選手のポジションは上位車両がレースから脱落したため 18 番手に戻っていた。

10 周目からレースが再開された。規則で定められたタイヤ交換は 10 周終了時から可能になるのでピットインする車両が出始めた。カルデロン選手は 12 周終了時点でピットイン、タイヤ交換を行ってコースに復帰した。その直後、再びセーフティーカーの導入、16 周目からレースが再開された。この時点で 18 番手につけていたカルデロン選手の前には #51 シャルル・ミレッシ選手（以下、ミレッシ選手）後には #14 大嶋和也選手（以下、大嶋選手）が走行しており、カルデロン選手は大嶋選手から逃げながらミレッシ選手を追いかけることとなった。伊与木エンジニアは「1 秒以上早いペースで大嶋選手が追いかけてくるから逃げろ！」と無線でカルデロン選手を激励し続けた。

周回ごとにコースを習熟したカルデロン選手のラップタイムは徐々に上がり、ミレッシ選手との間隔は徐々に縮まり始め、25 周目には 1.8 秒あった間隔は 29 周目には 1.3 秒、32 周目には 1 秒となった。しかし、これ以上接近するとダウンフォースが抜けて順位を入れ替えるには至らない。レース終了間際の 40 周目には 0.6 秒まで迫ったが、結局ここでチェッカーフラッグが振り下ろされた。カルデロン選手は大嶋選手の追撃から逃げ切り、16 位でレースを終えた。



| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

タチアナ選手コメント

残念ながら初めてのコースで、レースまでに十分走り込むこともできませんでしたが、すごく楽しい週末を過ごしました。日本のタイヤやクルマ、チームについてだんだん理解が深まってきました。レースではミレッシ選手とだんだん近づいていき、オーバーテイクボタンを使ってなんとか追い抜こうとしたのですが、届きませんでした。彼とは同様の条件で戦っていると思うので、次は彼より前でフィニッシュしたいです。今回は自分ができることを全部できたと思うので満足です。この調子で次の鈴鹿でもいいレースをしたいです。今回は大変疲れました。鈴鹿では2日間で2レースありますし、オートポリス以上にGがかかるので、もっと厳しいと思います。鈴鹿まで十分トレーニングして臨みます。



道上監督コメント

タチアナが無事日本に戻ってきてくれて良かったです。オートポリスが初めてだったにも拘わらず、決勝レースでどんどんペースが良くなってきました。課題は登り区間、セクター3のペースでした。あと、タイヤもレース中に消耗が進んで、「ムービングしてコントロールが難しくなつてつらい」と無線で訴えてきましたが、そのわりにはラップタイムが安定していました。ミレッシ選手とのバトルも、うまく行けば抜けたと思いますが、特に登り区間ではダウンフォースが抜けて近づけないと言っていました。でも今年2レース目なのにクルマを壊すこともなくレースを走りきって、すごくいい走りをしたと思います。



伊与木エンジニアコメント

周回するごとに良くなって、最後の最後にやっと慣れたかな、つかめたかなという感じの週末でした。でもちゃんとレースをやっていて先が楽しみになりました。金曜日、一緒にコースを歩いているとき、彼女が「このコース好き？」と言うので「実は大嫌いだ」と答えました。「なぜ？」と聞くから「ここのセクター3については、ドライバーはアンダーだ、オーバーだと、文句しか言わないからだ」と言いました。案の定、実際に走った後、「言っていたことがよくわかりました」と笑っていましたよ。「アンダー、オーバー」と注文つけてきましたから。鈴鹿は体力的にもスピードも、より厳しいぞと言ってありますが、グランプリサーキットだけに彼女は走る気満々でいます。彼女自身納得出来るレースになればいいですね。



レース結果

| Pos | No | Driver | Team | Time |
|-----|----|-------------------------|------------------------------|--------------------|
| 1 | 16 | 野尻智紀 | TEAM MUGEN | 1h07'11.228 |
| 2 | 5 | 山本尚貴 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING | 1h07'11.892 |
| 3 | 65 | 牧野任祐 | TCS NAKAJIMA RACING | 1h07'20.964 |
| 4 | 18 | 国本雄資 | carrozzeria Team KCMG | 1h07'21.988 |
| 5 | 3 | 山下健太 | KONDO RACING | 1h07'22.683 |
| 6 | 50 | 松下信治 | Buzz Racing with B-Max | 1h07'23.342 |
| 7 | 1 | Nick Cassidy | VANTELIN TEAM TOM'S | 1h07'24.502 |
| 8 | 36 | 宮田莉朋 | VANTELIN TEAM TOM'S | 1h07'28.748 |
| 9 | 6 | 福住仁嶺 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING | 1h07'30.889 |
| 10 | 66 | 大湯都史樹 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING | 1h07'34.821 |
| 11 | 19 | 関口雄飛 | ITOCHU ENEX TEAM IMPUL | 1h07'35.608 |
| 12 | 20 | 平川亮 | ITOCHU ENEX TEAM IMPUL | 1h07'36.504 |
| 13 | 38 | 石浦宏明 | JMS P.MU/CERUMO・INGING | 1h07'39.501 |
| 14 | 15 | 笹原右京 | TEAM MUGEN | 1h07'40.628 |
| 15 | 64 | Charles Milesi | Buzz Racing with B-Max | 1h07'47.629 |
| 16 | 12 | Tatiana Calderon | ThreeBond Drago CORSE | 1h07'48.554 |
| 17 | 14 | 大嶋和也 | ROOKIE Racing | 1h07'49.023 |
| 18 | 7 | 中山雄一 | carrozzeria Team KCMG | 1h08'07.307 |
| DNF | 39 | 坪井翔 | JMS P.MU/CERUMO・INGING | — |
| DNF | 4 | Sacha Fenestraz | KONDO RACING | — |

Drivers Ranking

| 順位 | ドライバー | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 合計 | 点差 |
|----|------------------|------|-------|-------|------|----|----|----|----|----|
| | | もてぎ | 岡山 | SUGO | AP | 鈴鹿 | 鈴鹿 | 富士 | | |
| 1 | 平川亮 | 3+20 | 3+8 | 2+15 | - | | | | 51 | - |
| 2 | Nick Cassidy | 5 | 11 | 20 | 4 | | | | 40 | 11 |
| 3 | 野尻智紀 | 4 | 1 | 8 | 3+20 | | | | 36 | 15 |
| 4 | 山本尚貴 | - | 5 | 11 | 1+15 | | | | 32 | 19 |
| 5 | 山下健太 | 1+15 | - | 5 | 6 | | | | 27 | 24 |
| 6 | 石浦宏明 | 3 | 15 | 3 | - | | | | 21 | 30 |
| 7 | 坪井翔 | - | 20 | - | - | | | | 20 | 31 |
| 8 | 国本雄資 | - | 4 | 6 | 8 | | | | 18 | 33 |
| 9 | 牧野任祐 | 2 | - | 4 | 11 | | | | 17 | 34 |
| 10 | Sacha Fenestraz | 2+11 | 1(QF) | 1(QF) | - | | | | 15 | 36 |
| ⋮ | | | | | | | | | | |
| | Tatiana Calderon | 0 | - | - | 0 | | | | 0 | 51 |

*表中ポイント数字の左側：予選ポイント 右側：決勝ポイント

Team Ranking

| 順位 | チーム | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 合計 | 点差 |
|----|------------------------------|-----|----|------|----|----|----|----|----|----|
| | | もてぎ | 岡山 | SUGO | AP | 鈴鹿 | 鈴鹿 | 富士 | | |
| 1 | VANTELIN TEAM TOM'S | 13 | 13 | 20 | 7 | | | | 53 | - |
| 2 | ITOCHU ENEX TEAM IMPUL | 20 | 14 | 15 | 0 | | | | 49 | 4 |
| 3 | DOCOMO TEAM DANDELION RACING | 6 | 8 | 12 | 17 | | | | 43 | 10 |
| 4 | JMS P.MU/CERUMO・INGING | 3 | 35 | 3 | 0 | | | | 41 | 12 |
| 5 | KONDO RACING | 26 | 0 | 5 | 6 | | | | 37 | 16 |
| 6 | TEAM MUGEN | 4 | 1 | 8 | 20 | | | | 33 | 20 |
| 7 | carrozeria Team KCMG | 0 | 4 | 6 | 8 | | | | 18 | 35 |
| 8 | TCS NAKAJIMA RACING | 2 | 0 | 4 | 8 | | | | 14 | 39 |
| ⋮ | | | | | | | | | | |
| 12 | ThreeBond Drago CORSE | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | 53 |